

## 副会長で高層木造建築物を視察しました

全国山村振興連盟事務局長 實重重実

本年2月19日の全国山村振興連盟理事会の後に、林野庁のお世話により、高層の木造建築を見学させていただきました。これは、金子恭之 前会長から、「一度市町村長副会長で視察をすると良い」という助言を頂いていたので、連盟の副会長会議のメンバーと事務局で見学させていただいたものです。

建物は、西新橋1丁目に新たにできたREVZOというオフィスビルで、中央日本土地建物（株）が事業主となっております。国会や官公庁にも近い商業地オフィス街に、地上10階建ての木造・鉄骨ハイブリッド高層建築が出現していました。

敷地面積は338.44㎡（約102.37坪）で、延べ床面積は2623㎡となっています。設計・施工は（株）竹中工務店 が担当されました。

この日はちょうど建物ができあがり、竣工検査が行われたばかりところで、中央日本土地建物と竹中工務店のご厚意により、視察させていただくことができました。私たちのほか、林野庁からも、職員が十数名視察に来られました。

10階建てのREVZOは、玄関、オフィスの柱、天井、内装、外装などに木材を豊富に使用し、木の柔らかさと暖かみを感じられるオフィス空間を作っております。この会社では、山中湖に18ヘクタールの森林を所有されており、そこに自生するカラマツを耐火集成材に加工して、柱の構造体として活用されたとのことでした。

各階には気持ちの良いテラスがあって、そこに園芸植栽ができるようになっています。また木質の天井を広く快適に見ることができるように、空調は床下から行う仕組みとなっていました。更に、コンクリートスラブをCLT木材で補強する3種類の工法を竹中工務店で開発し、特許を出願されていました。

その天井の木材ですが、鳥取県南部町で作られたCLT木材を利用しているとのことでした。見学された副会長の中に陶山 南部町長もおられましたので、喜んでおられました。中央日本土地建物の執行役員の方は、南部町まで木材を見に行くとともに、南部町名物であるオオサンショウウオも見に来てたと語っておられました。

この建物の建設は、東京都農林水産振興財団の「中大規模建築物の木造木質化支援事業」、「木の町並み創出事業」に採択されて、補助を受けているとのことでした。

今後もこのような形で、木造住宅ばかりでなく、高層木造建築が都市部で増加していくことが、快適な都市づくりや働く人の心身の健康につながり、また山村の活性化につながるので、この方向を一層進めていくことが重要だと思いました。